

『災害女性学をつくる』

2021出版記念 報告会

日時

2021年

2月10日 水

オンラインZoom

16:30-18:00 (会場16:10)

■要事前申込 2/8(月) 〆切
お申込はこちらから ▶

<https://forms.gle/sEQhkCmagAv4Shmz8>



東日本大震災から10年後のいま「女性と災害」の問題は現在進行形です。「大震災後のコミュニティ再生と市民女性のエンパワメント」について、女性の視点からともに考えましょう。ご興味のある方は、どうぞご参加ください。



はじめに

「災害女性学からみえること」本書の趣旨と背景

天童 睦子 (宮城学院女子大学 教授)

報告

「避難生活における女性支援とその課題—福島原子力災害がもたらしたもの」

薄井 篤子氏 (特定非営利活動法人 埼玉広域避難者支援センター副代表)

発言

宗片 恵美子氏 (特定非営利活動法人 イコールネット仙台代表理事)

畑山 みさ子氏 (宮城学院女子大学 名誉教授)

浅野 幸子氏 (減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表)

瀬山 紀子氏 (元公立女性関連施設職員)

コメンテーター

「女性視点の意義」

長谷川 公一氏 (尚絅学院大学大学院特任教授・東北大学名誉教授)

ディスカッション フロアとの意見交換

終わりに

「平時と非常時をつなぐ—地域市民のエンパワメントと未来への展望」

浅野 富美枝 (元宮城学院女子大学 教授)

お問い合わせ

主催 「女性・子どもと地域」研究ネットワーク WAC-lab / 代表・天童睦子

後援 宮城学院女子大学 地域子ども学研究センター

[TEL 022-277-6207](tel:022-277-6207)

[Mail:childfuture-c@mgu.ac.jp](mailto:childfuture-c@mgu.ac.jp)